

1. 地域経済と課題

新年最初の E-クオーターリーなので全国、世界の視点から経済を見てみます。

- (1) 人手不足が深刻に。日銀が 12 月 15 日に公表した 12 月の短観で、雇用状況を示す指数が全規模全産業でマイナス 38 と 34 年ぶりの「人手不足超」の水準になった。また、失業率ギャップから見た「完全雇用」が 25 年 11 月まで 59 か月連続となりバブル期を超えた。これらは賃金アップの圧力となる。いっぽう、省力化投資や AI 導入で必要人員も減少する見込みがあるとされている。唐津の人手不足も例外ではない。
- (2) 内閣府の発表によると、2024 年の一人当たり名目 GDP はドル換算で 33,785 ドルとなり OECD 加盟 38 か国中 24 位になった。スペインとスロベニアに抜かれ、21 位の韓国 (36,239 ドル) にも引き離されている。首位はルクセンブルクで 137,491 ドル。G7 では米国が 1 位で 85,836 ドル。日本は 7 位。IT 化の出遅れ、生産性の伸び悩み、日本企業の競争力の低下を直視すべきとの指摘がある。
- (3) 読売新聞 (1/8) の社説は示唆に富んでいる。企業の利益の蓄積である内部留保は 630 兆円を超え最大であるという。「金利のある世界」になった今では、資金の有効活用が問われている。資金のため込みは、企業の怠慢さを示す数字に他ならない。企業が投資により収益力を高めて高い賃金を実現すれば長引く物価高で強まる閉塞感を打破することが期待できると指摘している。
- (4) 日経 MJ 「2025 ヒット商品番付」。横綱は東が大阪・関西万博、西が映画「国宝」。大関は東がドジャース連覇、西が任天堂「Nintendo Switch2」、関脇は東が日経平均 5 万円、西が米 (コメ) フレーションである。国宝は、歌舞伎を描く約 3 時間の映画。国内興行収入は 177 億円超と 22 年ぶりに邦画実写トップに。小説も発行 200 万部超。映画と本という衰退分野での横綱。ビジネスのヒントがあるのでは。
- (5) 2025 年のインバウンドが過去最高の 4,270 万人 (消費額は約 9.5 兆円) との推計値。唐津の強みと弱みを踏まえた、インバウンドの視点に特化した観光地経営戦略を検討すべきではないかと思われる。オーバーツーリズムの事前防止を含めて。2030 の政府目標は 6000 万人、15 兆円。
- (6) 2026 年は二つの 250 周年の年である。1776 年 7 月 4 日はアメリカが建国された。一方、同年 3 月 9 日にアダムスミスの「国富論」が刊行されている。この二つの出来事は無関係のように見えるが通底しているものがあると指摘している。(日経 1/6 「大機小機」から。示唆に富む内容である。)

2. 経営支援から見える地域経済と課題

- (1) 令和 7 年度第 3 四半期 (令和 7 年 10~12 月) は、巡回訪問 153 件・窓口対応 396 件の経営支援を行った。

3. LOBO 調査(早期景気観測)& 中小企業景況調査**(1) LOBO 調査【令和 8 年 1 月調査】**

業況 DI は、長引く物価高が足かせとなり、ほぼ横ばい。先行きは、経営課題の長期化で慎重な見方。

- ・全産業合計の業況 DI は、▲17.9 (前月比+0.1 ポイント)

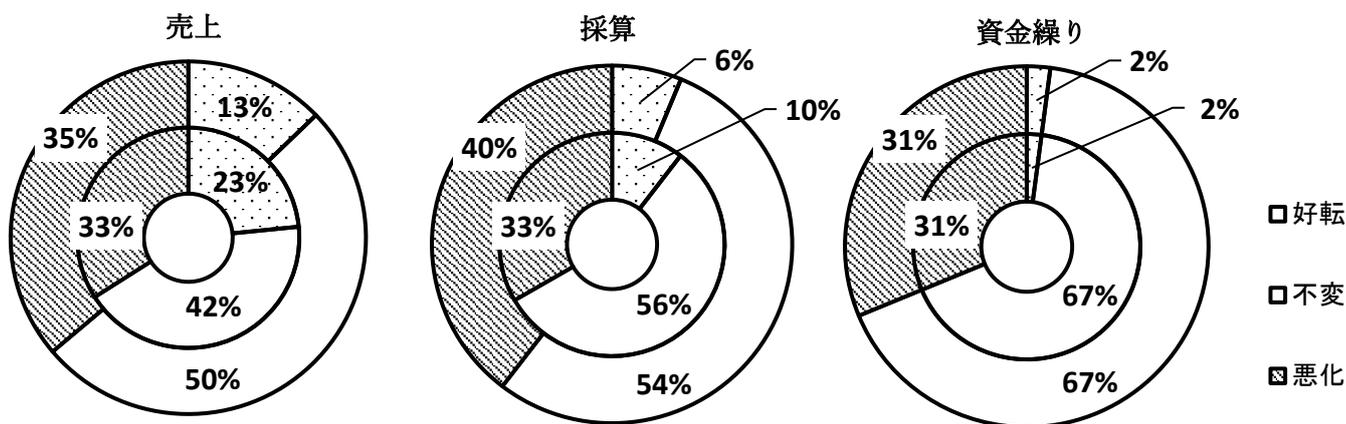
全国：物価高の長期化に伴う消費者の節約志向の高まりを受け、小売業では商店街を中心に買い控えがみられたほか、サービス業では、飲食店を中心に客数が減少し、悪化した。一方、製造業では、堅調な設備投資・半導体需要を背景に機械器具関係で引き合いがみられ、改善した。

九州：業況 DI は悪化。サービス業では、長引く物価高による消費者の節約志向の高まりが影響し、飲食関係を中心に売上・採算が悪化した。事業者からは、学生の送別会などはコロナ禍から回復傾向にある一方、法人関係の宴会は働き方の変化もあって年々減少傾向にある、という声が聞かれた。卸売業では、サービス業からの引き合いが減少した飲食料品関係などで売上・採算が悪化した。

(2) 中小企業景況調査【令和7(2025)年10月～12月調査】

円グラフの外側：前年同期（2024年10～12月）と比べた今期（2025年10～12月）の状況

内側：前々年同期（2023年10～12月）と比べた前年同期（2024年10～12月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：需要の停滞 小売業：消費者ニーズの変化への対応 建設業：従業員の確保難
卸売業：人件費の増加 サービス業：材料等仕入単価の上昇

4. 唐津の街のトピックス

- 宮島清一唐津商工会議所相談役（前会頭）が『食の化学—原子・電子の眼で見る食と健康—』（三省堂書店/創英社）を上梓された。宮島醤油株式会社は2005年から社内に宮島技術学校を開設されている。
- 永井啓二さん（2024年逝去）をご存知でしょうか。唐津出身でモダンデザイン製品（椅子が有名）の世界的な収集家でした。膨大なコレクションが散逸しないか心配していたら、西日本新聞2025.11.18にコレクションの継承団体「K&DESIGN COLLECTION」があるのを知って一安心。唐津との縁を活かせないかと思う。
- 2020年に亡くなった俳優の三浦春馬を記念した三浦春馬 Birth Day 花火2026 in 唐津が4月5日に開催される予定だ。今年が3回目です。これまでで一番多く資金が集まった。なぜ花火？「上を向く、笑顔になる。花火っていいですね！」。春馬さんは唐津を訪れ、唐津焼を購入されている。唐津焼の魅力健在。
- WEBマガジン「UMAGA」(1/10)で唐津の「大しげ」が紹介されている。偶数月の15日に予約開始。数日で埋まってしまう。前回は不可、再挑戦！
[京都の名店で経験を積んだシェフが唐津食材で魅せる上質な中華コース | UMAGA\(ウマガ\) 福岡の“うまい”を探る WEB マガジン](#)
- COSME WEEK 東京で1月14日に開催された山口知事、タレントのMEGUMIさん、徳留佐大教授のトークイベントは示唆に富むものであった。①コスメをコンテンツにした地域づくりの独自性、②佐大のコスメティック学環によるコスメの科学的アプローチと人材供給、③将来像としてのコスメ産業クラスターとコスメ&ガストロノミーツーリズムへの発展などが考えられる。
- 令和8年1月18日、林総務大臣は、佐賀県を訪問、唐津市では、民間の活力を活かして商店街の課題解決に取り組む「いきいき唐津株式会社」を視察したのち、特定地域づくり事業協同組合制度を活用している「人材バンク唐津協同組合」の関係者との意見交換を行いました。大臣も非常に評価されていました。こうした取り組みが、全国の地域活性化の先進事例になればと思う。

